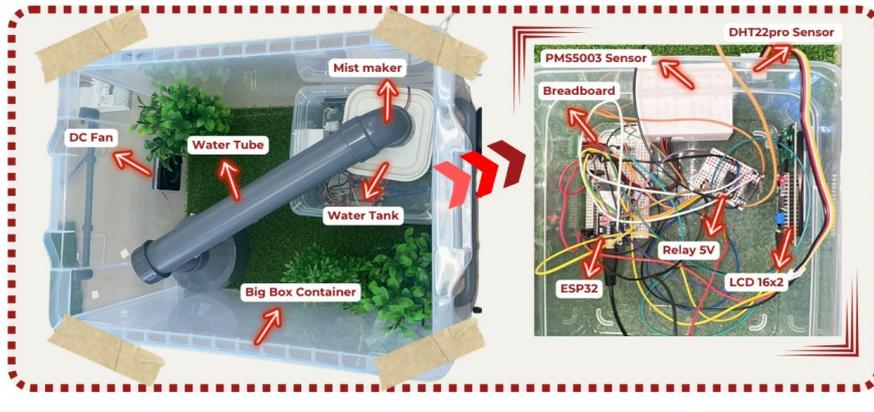


グローバルPBL1, 2(受入): 電子技術を用いてSDGsに関連したシステム実現のための双方向gPBLプログラム

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年10月28日 ～2024年11月05日	日本	キングモンクット工科大学 トンブリ校	電子工学科、 電気工学科 学部3～4年生	(芝浦工業大学) 学生11名、 学生バイト3名、 教員3名、 職員1名  (キングモンクット工科大学 トンブリ校) 学生10名、 教員1名	小池 義和 (電気電子工学課程先端 電子工学コース)、  横井 秀樹 (電気電子工学課程先端 電子工学コース)、  加納 慎一郎 (電気電子工学課程先端 電子工学コース)

Hardware Connections



ワークショップで実現したシステム

今回実施された受入PBLプログラムは、キングモンクット工科大学トンブリ校(KMUTT)と継続して取り組んでいる双方向型PBLの後半にあたる内容である。今年度は9月16日から9月24日にかけて日本からの派遣が行われ、10月28日から11月5日にかけてタイ学生の受入を実施した。単位認定については、受入プログラムが「共通科目: 受入グローバルPBL1または2」として付与される。今回の受入期間中、本学からは11名の学生がKMUTTからは学生10名に加えて教員1名も参加した。本年度のテーマもSDGsに関連する内容としてプロジェクトを進めている。昨年度のように植物の自動給水システムの他に二酸化炭素、微粒子の少ない室内環境の維持を実現するシステムについても取り組んでいた。最終発表では全ての機能が実演できた班が最高評価を得ていたが、他の班もこれまでに以上に複雑なハードとソフトを組み合わせたシステムを実現している。



受入PBLのガイダンス



ワークショップ



最終発表



浴衣ワークショップ